

JIS

120 mm 再生専用形光ディスク(CD-ROM)

JIS X 6281 : 2006
(ISO/IEC 10149 : 1995)
(OITDA/JSA)

平成 18 年 1 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本工業標準調査会標準部会 情報技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	石 崎 俊	慶應義塾大学
(委員)	浅 野 正一郎	国立情報学研究所
	伊 藤 章	財団法人日本規格協会
	伊 藤 文 一	財団法人日本消費者協会
	岩 田 秀 行	日本電信電話株式会社
	大久保 彰 徳	社団法人ビジネス機械・情報システム産業協会
	小 川 義 久	財団法人日本情報処理開発協会
	笥 捷 彦	早稲田大学
	河 内 浩 明	社団法人電子情報技術産業協会
	後 藤 志津雄	株式会社日立製作所
	小 町 祐 史	パナソニック コミュニケーションズ株式会社
	関 根 千 佳	株式会社ユーディット
	田 中 謙 治	総務省
	中井川 禎 彦	総務省
	中 村 泉 之	日本銀行
	成 田 博 和	富士通株式会社
	平 野 芳 行	日本電気株式会社
	伏 見 諭	社団法人情報サービス産業協会
	藤 村 是 明	独立行政法人産業技術総合研究所
	宮 澤 彰	国立情報学研究所
	山 本 泰	日本アイ・ビー・エム株式会社
	山 本 喜 一	慶應義塾大学
	渡 辺 裕	早稲田大学

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：平成 4.1.1 改正：平成 18.1.20

官 報 公 示：平成 18.1.20

原 案 作 成 者：財団法人光産業技術振興協会

(〒112-0014 東京都文京区関口 1-20-10 住友江戸川橋駅前ビル TEL 03-5225-6431)

財団法人日本規格協会

(〒107-8440 東京都港区赤坂 4-1-24 TEL 03-5770-1571)

審 議 部 会：日本工業標準調査会 標準部会 (部会長 二瓶 好正)

審議専門委員会：情報技術専門委員会 (委員長 石崎 俊)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 基準認証ユニット情報電気標準化推進室 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第 15 条の規定によって、少なくとも 5 年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

まえがき

この規格は、工業標準化法第 14 条によって準用する第 12 条第 1 項の規定に基づき、財団法人光産業技術振興協会(OITDA)／財団法人日本規格協会(JSA)から、工業標準原案を具して日本工業規格を改正すべきとの申出があり、日本工業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が改正した日本工業規格である。

改正に当たっては、日本工業規格と国際規格との対比、国際規格に一致した日本工業規格の作成及び日本工業規格を基礎にした国際規格原案の提案を容易にするために、**ISO/IEC 10149:1995**, Information technology—Data interchange on read-only 120 mm optical data disks (CD-ROM)を基礎として用いた。

この規格の一部が、技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録願に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本工業標準調査会は、このような技術的性質をもつ特許権、出願公開後の特許出願、実用新案権、又は出願公開後の実用新案登録願にかかわる確認について、責任をもたない。

JIS X 6281 には、次に示す附属書がある。

附属書 A (規定) RSPC による誤り訂正符号化

附属書 B (規定) スクランプラ

附属書 C (規定) CIRC による誤り訂正符号化

附属書 D (規定) 8 ビットから 14 チャンネルビットへの変換

附属書 E (規定) 併合ビット

附属書 F (参考) 保存試験

目 次

	ページ
序文	1
1. 適用範囲	1
2. 適合性	1
3. 引用規格	1
4. 定義	2
5. 環境	2
6. 不燃焼性	3
7. 材質	3
8. 機械的特性, 物理的特性及び寸法特性	4
9. 入射面の機械的偏位	8
10. 反射層の偏位	8
11. 物理トラック幾何	8
12. 光再生システム	9
13. 記録の一般事項	12
14. デジタルデータトラックのセクタ	12
15. スクランブル化	14
16. F ₁ フレーム	15
17. CIRC 符号化 - F ₂ フレーム	15
18. 制御バイト - F ₃ フレーム及びセクション	15
19. ディスクへの F ₃ フレームの記録	15
20. 情報領域のトラック構造	16
21. 情報領域の番地付けシステム	17
22. デジタルデータトラックの制御バイトの規定	18
附属書 A (規定) RSPC による誤り訂正符号化	23
附属書 B (規定) スクランブラ	26
附属書 C (規定) CIRC による誤り訂正符号化	27
附属書 D (規定) 8 ビットから 14 チャンネルビットへの変換	32
附属書 E (規定) 併合ビット	34
附属書 F (参考) 保存試験	35
解 説	36

120 mm 再生専用形光ディスク(CD-ROM)

Data interchange on read-only 120 mm optical data disks (CD-ROM)

序文 この規格は、1995 年に第 2 版として発行された **ISO/IEC 10149:1995**, Information technology — Data interchange on read-only 120 mm optical data disks (CD-ROM)を翻訳し、技術的内容及び規格票の様式を変更することなく作成した日本工業規格である。

1. 適用範囲 この規格は、情報処理システム間の情報交換用及び情報記憶用の、CD-ROM と呼ばれる 120 mm 光ディスクの特性について規定する。

この規格が規定する光ディスクは、利用者への配布前に情報を記録しておき、ディスクからの再生だけを許す種類とする。この規格は、次の規定を行う。

- a) 定義、並びにディスク特性を試験しなければならない環境及びディスクを使用し保存しなければならない環境
- b) ディスクの機械的特性、物理的特性及び寸法特性
- c) 記録特性、トラックのフォーマット、誤り検出及び誤り訂正の特性、並びに情報の符号化
- d) 情報を再生するための光学的特性

これらの特性は、デジタルデータを記録するトラックについて規定する。この規格に従って、ディスクは、デジタル音声データを記録する一つ以上のトラックを含んでもよい。それらのトラックは、**JIS S 8605** に従って記録しなければならない。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

なお、対応の程度を表す記号は、**ISO/IEC Guide 21** に基づき、IDT (一致している)、MOD (修正している)、NEQ (同等でない) とする。

ISO/IEC 10149:1995, Information technology — Data interchange on read-only 120 mm optical data disks (CD-ROM) (IDT)

2. 適合性 光ディスクは、この規格のすべての必ず (須) 要件を満たすとき、この規格に適合する。

3. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの引用規格のうちで発効年を付記してあるものは、記載の年の版だけがこの規格の規定を構成するものであって、その後の改正版・追補には適用しない。

JIS S 8605:1993 コンパクトディスクデジタルオーディオシステム

JIS X 0606:1998 情報交換用 CD-ROM のボリューム構造及びファイル構造